

平成22年度決算のあらまし

(単位：億円)

	平成22年度	平成21年度	増減率(%)	
一般会計	歳入	888.3	952.3	△ 6.7
	歳出	862.0	911.1	△ 5.4
国民健康保険特別会計	歳入	234.4	231.3	1.3
	歳出	229.9	227.9	0.9
老人保健医療特別会計	歳入	0.1	0.7	△ 83.0
	歳出	0.1	0.6	△ 81.3
後期高齢者医療特別会計	歳入	47.8	49.1	△ 2.7
	歳出	47.6	49.0	△ 2.8
介護保険特別会計	歳入	152.9	145.5	5.1
	歳出	149.6	143.5	4.2
用地特別会計	歳入	2.2	2.2	△ 1.4
	歳出	2.2	2.2	△ 1.4

平成24年度予算編成に向けて

24年度から「財政健全化にむけたアクションプログラム」に取り組み、180億の歳出抑制、予算の削減が発表になったことは、区報、新聞報道によって、ご存知のことと思います。

我々自民党区議団としては今所有している170施設のあり方は区財政の大きな課題と位置づけており、これらの施設の今後の統廃合を積極的に検討することによって、人員の削減を含めた将来の施設のあり方を考えていきます(経常収支比率の改善のためには、人件費の抑制が緊急の課題です)。一番重要なのは、180億の削減ありきではなく、将来を見据えた上でスクラップ&ビルドを徹底的に行い、区民生活、区の施策として本当に必要なものを要求して行くべきと考えます。

北方四島視察

我が国固有の領土である北方領土問題は日露両国間の最大の課題です。最近メドベージェフ大統領の訪問もあり、この問題が一日も早く解決されることを願い、地方議員の立場から、是非実際に見て現地の方々のお話を伺った上で活動につなげて行きたいと、8月1日から3日間視察に行きまして。



知床自然遺産



ノサップ岬より北方領土を望む



根室市長表敬訪問



標津町にて食の安全施策説明



旧島民の皆様との意見交換会



自然保護官よりレクチャーを受ける

珍しい晴天の摩周湖

よしあきの手帳

4月	6日	碑小学校入学式参列
	7日	第七中学校入学式参列
	9日	グループホーム沙羅の家開所式参列
	17日	統一地方選挙立候補届ける
	23日	統一地方選挙遊説
5月	24日	統一地方選挙投票日(当選)
	25日	当選証書授与式(区総合庁舎)
	8日	目黒区水防訓練(中目黒公園)
	9日	各種団体総会出席
	20日	区議会臨時会(役職承認)
6月	28日	碑小学校運動会参列 東京都障害者スポーツ大会(駒沢競技場)
	5日	ミニバレー関東Festa参列(中央体育館)
	7日	気仙沼視察
	8日	23区議連協幹事長会(東京都連)
	10日	青少年委員 OB会(楽園菜館)
7月	20~30日	区議会第二回定例会
	3日	目黒消防団ポンプ操法大会(清掃工場)
	7日	台湾代表処表敬訪問
	8日	23区議連協幹事長会(東京都連)
	12・13日	議会運営委員会/都市環境委員会出席
8月	8・20日	議運理事会
	23・24日	リバーサイドフェスティバル参加(区民センター)
	1~3日	自民党区議団視察(北方四島他)
	6日	平和記念式典出席
	9・10日	都市環境委員会/議会運営委員会出席
9月	24・26日	都市環境委員会/議会運営委員会出席
	28日	目黒区防災訓練参加(中根小学校)
	7~30日	区議会第三回定例会
	7日	自民党を代表して区政一般質問
	10日	目黒区体育大会開会式参列
9月	16~27日	決算特別委員会
	19日	敬老のつどい参列(パーシモンホール)

討議資料

区政レポート vol.17



あなたと変えたい、
目黒の未来を

伊藤よしあき事務所

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷1-23-19

TEL 03-3716-9155

FAX 03-3716-9161

携帯電話 090-4710-9119

URL www.ito-yoshiaki.com

ご挨拶

みなさんこんにちは！秋もたけなわとなり早くも紅葉の便りを耳にする季節となりました。改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

又、1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

日頃、私の政治活動をお支えくださり本当にありがとうございます。

自民党区議団幹事を仰せつかり早5ヶ月、9月議会(第2回定例会)も乗り切り、今、少しほっとしているところです。

今回からは今までの一般質問と異なり会派のまとめ役として代表質問も行います。

これは区政全般に目を配らねばなりませんから質問の重みも違います。

やはり将来を見据えた長期的視点での財政や安心安全に関する施策の点検と今やるべき喫緊のくらしの課題を具体的に何からどのように進めるかという点につきます。

(詳細は右2-3Pをご一読ください)

そのために都、国との調整、なにより区民の皆様のご協力や共助の気持ちも大切な要素になります。

「カキクケコプラン」と「目黒の未来」ため、がんばります。

今年も残すところ2ヶ月余り、ご自愛され皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

23年4月～9月の区政レポートをお届けします。ご一読ください。

伊藤よしあきの「カキクケコ」プラン

- カ 環境・快適な生活環境づくり
- キ 教育・行政改革
- ク 区づくり・区と都のパイプ役
- ケ 健康づくり・経済・景気対策
- コ 高齢者対策・子育て支援・国際交流

自民党目黒区議団を代表して第2回定例会で一般質問！

＝ 危機的な財政悪化を招いた区長の責任を問う ＝



<緊急財政対策>

(1) 区長の経営者としての理念を問う。

区長／「信頼と改革の区政」を基本姿勢として課題に取り組み、成果を挙げてきた。今後財政の健全化に向け、先頭に立って尽力する。

(2) 景気の影響は23区ともに受ける。なぜ目黒区だけが財政難なのか。

区長／大規模施設整備や緊急経済対策等に基金を活用した結果、基金残高が減ったためである。

(3) 就任後青木区長は、財政上の負担にもなる目黒区独自事業をどの程度行ったか。

区長／生活安全パトロールなどを実施。事務事業の見直しにより、健全な財政運営を確立していく。

(4) 目黒区は他区と比較して義務的経費が高い。人件費の積極的な削減をどう考えるか。

区長／民営化の推進などで、職員数の適正化に取り組んでいく。

(5) 現在の基本計画及び実施計画の実現は困難だ。計画を変更する考えはあるのか。

区長／基本計画の課題と方向性等は妥当と考える。実施計画は平成24年度に改定作業を予定している。

(6) 事業評価での「延期」は財政対策において抜本的解決策になっていない。事業見直しの「延期」は単なる先送りでないのか。

区長／事業を検討し、総合的な観点から延期と判断した。今後実施計画改定作業の中で詳細に検討する。

(7) 今回の緊急財政対策はスクラップだけでビルドがない。将来を見据えた事業の構築を今後どのように考えるか。

区長／危機的状況を回避するため、スクラップの部分を優先した。安定的な財政基盤の確立を目指し、施設経費と人件費の改善に向け取り組む。

(8) 包括外部監査を廃止したが、このような状況だからこそ費用対効果を考えた削減のための投資をせよ。

区長／初期の役割を一定程度果たしたため、包括外部監査を廃止した。今は再導入を考えていない。

(9) 今回の財政難に対し、区長は責任の所在をどのように考えているのか。自身の報酬についてはどうか。

区長／区政執行の最終責任は、区長が負う。これまでの見直しに加えて、退職手当の削減幅を30%まで拡大する考えである。